

**第四次花巻市子ども読書活動推進計画（素案）に関する
パブリックコメントの実施結果について**

1 意見募集の概要

(1) 意見の募集期間

令和3年12月20日（月）～令和4年1月25日（火）

(2) 周知方法

市ホームページ、広報はなまき（令和3年12月15日号）

(3) 資料の閲覧場所

各市立図書館、市役所本庁総務課、各総合支所地域振興課、生涯学園都市会館（まなび学園）、各振興センター、花巻保健センターに備え付けたほか、花巻市ホームページに公開した。

2 意見募集の結果

(1) 意見件数 3件（意見提出者数 1人）

(2) 備付素案閲覧件数 130件（備付 35件 ホームページ 95件）

(3) 意見の内訳

| 項 目 | 件数 |
|-------------------------------------|----|
| はじめに | |
| 第1章 計画の基本 | |
| 1 計画改定の趣旨 | |
| 2 計画の位置づけ | |
| 3 計画の期間 | |
| 第2章 第三次計画における子どもの読書活動の状況と課題 | |
| 1 計画の進行状況を示す目標値の動向 | |
| 2 子どもの読書活動の推進における現状と課題 | 2 |
| 3 第四次計画に向けて | |
| 第3章 第四次計画における子どもの読書活動の推進における基本的な考え方 | |
| 1 家庭、地域、学校及び行政が連携・協力した読書活動の推進 | |
| 2 子どもが本に親しむ環境づくり | |
| 3 読書活動の普及と啓発の推進 | |
| 4 郷土を愛するところを育む読書活動の推進 | |
| 第4章 子どもの読書活動を推進するための取組 | |
| 1 家庭、地域、学校等及び行政における読書活動の推進 | 1 |
| 2 優れた郷土の先人や文化に触れて知る読書活動の推進 | |
| 第5章 子どもの読書活動を推進するための諸条件の整備・充実 | |
| 1 関係機関等との連携・協力及び計画の推進体制 | |
| 2 啓発・広報等の推進 | |
| 3 計画の進行状況を示す目標値の設定 | |
| 合 計 | 3 |

(4) パブリックコメントによる意見と市の考え方 別紙のとおり

第四次花巻市子ども読書活動推進計画（素案）に関する意見と市の対応の考え方【パブリックコメント】

はじめに 意見等なし。

第1章 意見等なし。

第2章 第三次計画における子どもの読書活動の状況と課題

| No. | 頁 | 項目 | 意見の内容 | 意見に対する市の考え方 | 対応 |
|-----|---|---|---|---|------------|
| 1 | 6 | 2 子どもの読書活動の推進における現状と課題 (2)地域における読書活動の現状と課題 | <p>「それらの振興センターでも子どもが楽しく読書ができる環境が整備されていないのが実情です。」とありますが、果たして子どもたちのために振興センターの読書スペースを充実させる必要があるのでしょうか。</p> <p>また、「地域の教育課題の一つである「学力向上」」とありますが、子どもの学力向上は市内の各地区の課題なのでしょうか。</p> <p>私の意見としては、振興センター等に図書スペースを新設したり、蔵書を増やすことに予算をつけるよりも、達成率が年々下がっている小中学校の蔵書数の充実や図書貸出し普及を優先させるべきだと思います。</p> <p>地域の方から要望があり振興センターに図書スペースを設置したのだろうと想像しますが、小中学生は振興センターよりも充実した校内図書室を利用するので、わざわざ振興センターに本を借りに行くとは思えません。</p> <p>また「学力向上」は目標であり、課題とするならば「学力低下」だと思います。保護者、教師、地域が協力して子どもの教育にあたり学力向上を目指すのであれば納得はできますが、そのために子どもたちは求められていない振興センター読書スペースの充実は必要ないと思います。</p> <p>もし、振興センター読書スペースの充実を検討するならば、本計画ではなく生涯学習の分野で立案し、振興センターを最も利用する世代に向けた読書スペースとして充実させるのがよろしいのではないかと思います。</p> | <p>本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づいて、家庭、地域、学校を通じた社会全体での取組を推進するものとして策定されています。</p> <p>振興センターは、教育の課題も含め、地域の社会的課題への対応、学習の拠点として設置されているものであり、家庭、地域の連携による取組が求められています。そのなかで、子どもの読書活動の推進につきましても、振興センターが地域と家庭、学校等関係機関と連携・協力し、子どもたちが自由に本を読めるスペースづくりや、読み聞かせ等読書活動の機会を提供する取組等の実施が望まれます。</p> <p>また、地域と家庭、学校が連携し、「子どもたちの教育課題解決」・「自主的、実践的な運動」に取り組む教育振興運動が行われています。民間調査での「読書」と「学力」の関係の調査データ（読書量の多い子どもほど、「知識」と「思考力」の能力が高い）もあることから、重点方針として、より一層の「読書活動の推進」を掲げています。</p> <p>以上を踏まえながら、ご意見を参考に修正します。</p> <p>なお、小中学校の蔵書の充実については、別項目でふれさせていただいております。</p> | 反映・修正意見を参考 |

| | | | | | |
|---|---|--------------------------------------|---|--|---------------------|
| 2 | 8 | 同上 (4)関係機関における読書活動の現状と課題 【課題】① | 「家庭、学校、地域と連携し、子どもたちの自主的な読書活動を推進するための事業の実施が求められています。」とありますが、地域と何を連携するのでしょうか。 子どもたちの自主的な読書活動のために家庭で親も一緒に本を読む（読み聞かせる）ことの必要性はよく理解できますが、前項の質問でも上げたように地域と連携する理由は感じられないと思います。 地域コミュニティの協力によって親が読書を習慣化するようになり、伴って子どもたちの読書の質が向上する方策があるのであれば納得ができますが、それは示されていません。 また、親はそこまで遠くない距離に市立図書館があるのに、わざわざ蔵書数が少ない振興センターの図書スペースに本を借りに行くとは考えにくいです。前項も含め振興センターに読書スペースを設置する予算根拠とするために、地域との関係を示しているように勘ぐってしまいます。 | 子どもの自主的な読書活動を推進するためには、家庭、地域、学校、行政機関等を含め社会全体で、それぞれの役割を担いながら連携した取組を進めていく必要があります。具体的には、コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）の仕組みを活用することによって、子どもの読書活動にかかわる地域と学校の協働活動への連動を進めるなど、地域のボランティア団体との協働、三世代交流読書活動、郷土を知る読書活動、読み聞かせ講座、お話し会など、連携協力による取組を進めていきます。 | 質問への回答、要望等として対応するもの |
|---|---|--------------------------------------|---|--|---------------------|

第3章 意見等なし。

第4章 子どもの読書活動を推進するための取組

| No. | 頁 | 項目 | 意見の内容 | 意見に対する市の考え方 | 対応 |
|-----|----|--|--|--|------------|
| 3 | 13 | 1 家庭、地域、学校等及び行政における読書活動の推進 (2)地域における読書活動の推進 ◆振興センター、教育振興運動推進協議会、学童クラブ等における読書活動推進の取組 ②、③ | 「②地域での保護者向け「ふれあい出前講座」などの講座・研修等において、子どもの読書活動の重要性について学習する機会を提供します。③教育振興運動の各実践区での読書活動の一層の推進を図ります。」とありますが、親の読書習慣のためには別な手法がいいと思います。 ②について、形骸化しており親世代には全く魅力的な印象がありません。講座の内容が充実していても届けたい相手に参加してもらわなければ効果がありません。「ふれあい出前講座」という名前は外し、「本を読む子どもと読まない子どもの違い」などとわかりやすいタイトルにした独立コンテンツにし、YouTube等で配信するほうが求められている効果を得られると思います。 ③も同様であり、親世代にとってはニーズがなく、祖父母世代へのサービスになるので本計画ではなく、生涯学習としての計画で議論されるべきだと思います。 | ふれあい出前講座については、「お話し会」など利用されていることから、引き続き地域での読書活動推進の取組の一つとして進めていきます。 また、インターネットでのコンテンツ配信等については、実施している図書館等、内容を参考にしながら市立図書館における読書活動の取組として検討してまいります。 教育振興運動については、地域と学校が協働し、子どもの教育課題解決に向けた取組を進めていく中で、読書活動の一層の推進を図っていきます。 以上を踏まえながら、ご意見を参考に修正します。 | 反映・修正意見を参考 |

第5章 意見等なし。